

2022年度（令和4年度）

大阪府枚方市 訪問介護事業所実態調査

枚方市訪問介護事業者会／訪問介護事業所実態調査実施概要

●調査期間：2022年5月1日～2022年5月31日

●調査目的：アンケートの目的

1. 枚方市内における訪問介護事業所の運営状況の把握
2. ヘルパーの確保における課題の抽出 より抜粋

Q. ヘルパーの平均年齢は？

⇒ A. 全事業所のヘルパー平均年齢 約53歳

施設等の入居者へのサービス提供は行っていない事業所・・・・・・・・・・約54歳

一部の利用者が施設に入居しており、サービス提供場所の一つとして実施している事業所・・・約55歳

基本的に施設等の入居者へのサービスが中心だが、近隣にも訪問している事業所・・・・・・・・約49歳

施設等の入居者へのみサービス提供を行っている事業所・・・・・・・・・・約47歳

Q. サービス提供責任者の教育、研修についての困りごとは？

- ・業務優先となり十分に研修の参加が出来ない。
- ・日常の業務に追われ、改めてサ責の研修時間を設けるのが難しい。
- ・月に一度のヘルパーミーティングを行うのが必死である。
- ・援助の入れ替わり(新規開始、終了が頻繁)が激しく、研修の日程に調整がつかない。
- ・実践で経験年数を重ね、年齢も重ね、スキルアップへの意識を高めること。
具体的にどのような内容にしたら良いか。 など

Q. サービス提供責任者の給与、待遇についての困りごとは？

- ・給与を上げたいが、ままならない
- ・介護報酬が低く、補助金・処遇改善金はもらっているものの労働に見合っていない。
- ・電話の持ち帰り。呼び出し、問い合わせなど、休日でも連絡が入ることが多い。
- ・年末年始などまとまった休みが取れない。 など

Q. その他の困りごとは？

- ・年末年始などまとまった休みが取れない。
- ・サービスにも入っているため、事務作業などの時間が足りない。
- ・若いサ責がいらない為、次世代への教育や指導ができない。 など

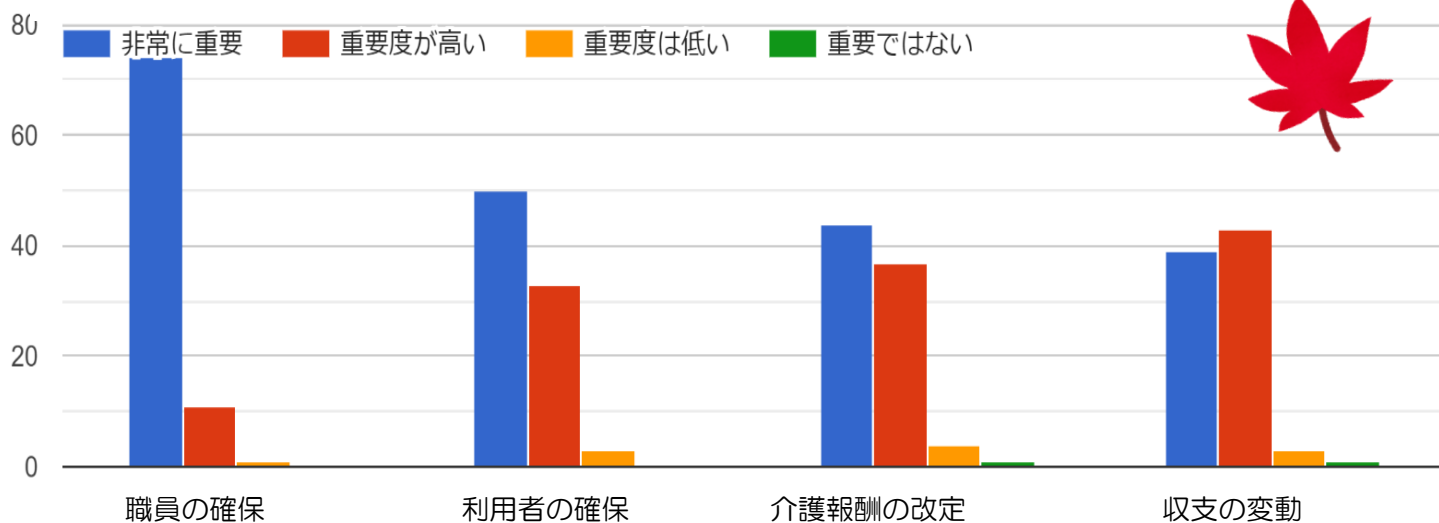
Q. 訪問介護員の給与・待遇での困りごとは？

- 賃金と扶養のバランスを取るのが難しい
- 給与を上げたいが、ままならない。
- コロナ禍で頑張っている介護職員に手当をあげたい。 など

Q. その他の困りごとは？

- 土日祝日、朝夕に稼働できるヘルパーが少ない。
- 募集しても応募がない（人員不足）
- ヘルパーの高齢化が進んでいる
- 移動中の事故
- 事務所になかなか立ち寄ってくれない。
- 研修の参加率
- 人材紹介の初期費用が大きい
- 移動手段が、徒歩か自転車のため遠くに行けない。
- 接遇・マナー、意識向上 など

Q. 訪問介護事業の運営で重要と考えているものは？



Q. 訪問介護事業の運営の展望は？

- 夢のような話ですが、収益にとらわれず、地域に密着した事業運営を目指したい。
- 出来る限りご自身の住まいで介護していきたい。
- ヘルパーを確保して、どんな依頼にも答えていけるようにしたい。
- 良い人材が増えれば、頑張って貢献していきたい。 など